

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

申請者	所在地	栃木県足利市今福町211
	名称	鶴貝染染工業有限会社
	代表者	鶴貝 雅廣

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																				
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	あらゆる雇用条件で差別を行わない						5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	ハラスメントを禁止することを就業規則に明記している						5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1			
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない				○	基本	労働基準法について理解し、多様な働き方に対応する勤務体制の整備・対応を行っている																				
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	外国人労働者に対しても同一の勤務、賃金体制にしている					4.4							8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	労働衛生に対する教育を実施し、安全、衛生的な職場環境整備を行っている												8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○			基本	メンタルヘルスに関する方針と計画の策定																				
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	多様な人材が活躍できる社内制度を整えている							5.1 5.5						8.5		10.2 10.3						
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用																						
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用							4							8		9						
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用														8.5		10.2 10.3						
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	廃棄物の管理は適切に行い、削減に努めている															11.6		12.3 12.4 12.5		14.1		
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	省エネに関する社内教育、セミナー等への参加による社員教育を実施し省エネ、エネルギーの効率的な利用を実施している										7.3										13	
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	【予定】・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定												7.2 7.3					12.4			13.3	

申請者	所在地	栃木県足利市今福町2-1-1
	名称	鶴貝捺染工業株式会社
	代表者	鶴貝 雅廣

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリー	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																				
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	使用する化学物質に対しては有害性が無いことを確認している。			3.9					6.3						11.6	12.4						
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、大きな負の影響を削減するための計画を策定している								6.6										15			
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	自社の水の利用状況は管理、効率化を進めている								6.4	6.6												
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用					3.9				6	7						12	13.3	14	15			
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用																12.6						
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用										7.2								13				
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用																	12.2	13	14	15		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用									6.3							11.6	12.5	13	14	15			
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内浸透																			16	16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修の実施																			16		
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	知的財産権については保護、遵守をするよう公的機関主催のセミナーに参加させ社員教育を行っている。									8.2	8.3	9										
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	個人情報については適切に管理している。また、社内教育を実施し重要性の認識を高めている																				16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																					16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用					5				8			10				12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	製品・サービス使用時に想定されるリスクを想定するとともにその対策についても検討している			3.9												12.4						

